

評価・意思決定期（中2・中3）編

■ 評価・意思決定期の学習のねらいと学習活動例一覧

段階	学年	幼児・児童・生徒が11年間で身に付ける資質・能力・態度				
		環境についての感受性 共生や思いやりの心	環境に対する見方・考え方			環境に働きかける 実践力
			環境に対する 思考・判断・表現	問題解決に 必要な技能	環境に対する 知識・理解	
評価・意思決定期	中3 中2	○環境問題を総合的に思考・判断し、賢明な選択・意思決定が行えるような学習活動を設定し、環境保全や環境の改善に主体的に働きかける能力や態度を育成する。				
		<p>【環境を身近なものとして捉える感受性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地球規模の環境問題を自分の生活と関連付けて捉え、興味・関心をもって関わることができる。 <p>【共生や他者に対する思いやりの心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人と自然とが相互に関係し合っていることを意識し、自然や多様な人々との共生を大切にしようとする心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日の生活の中から、地球環境に大きな影響を与えている問題を見付け出し、解決方法について考えることができる。 ●地球環境と身近な環境との関わりに目を向けて、環境を構成する一員として、自らの考えを深めることができる。 ●地球規模の環境問題について、インターネットや実験などの情報ソースを組み合わせて、自らの考えをまとめ、効果的に発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境問題についてインターネットや実験などから、自ら情報を収集・検証・選択することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の自然・社会環境をめぐる様々な問題について、現状や歴史的・経済的背景を理解することができる。 ●人類も地球環境を構成する一員であることを自覚し、その開発には重い責任を伴うことを認識することができる。 ●「未来に持続する社会」に向けて、世界の人々の工夫や努力を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地球市民としての自覚をもち、環境改善・保全に関わる諸外国や各自治体の様々な活動に共感をもち、積極的に参加することができる。 ●「未来に持続する社会」の視点に立ち、家庭や学校、地域におけるアクションプランを策定し、環境を守り育てる活動を実践することができる。

●活動事例

No.	1	活動名	地球規模の環境問題とわたしたちの生活との関連を考えよう		活動に要する時間	10時間程度
環境をとらえる視点		循環 多様性 生態系 共生 有限性 保全				
概要	FEEL		THINK		ACTION	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地球に今何が起きているの？ 環境問題について知っていることを話し合い、現実を見つめよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもった環境問題について深く調べてみよう。 ・環境問題が未来に与える影響について予想しよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの発表内容について自らの考えをもとう。 ・学習を通して分かったことをこれからの生活に生かそう。 	
No.	2	活動名	環境問題対策を私たちから発信しよう		活動に要する時間	10時間程度
環境をとらえる視点		循環 多様性 生態系 共生 有限性 保全				
概要	FEEL		THINK		ACTION	
	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの子どもたちの環境への取組について知ろう。 ・様々な環境問題対策について知ろう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・板橋区や各自治体、企業、世界各国の環境問題対策の取組について調べよう。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちの発表内容について自らの考えをもとう。 ・興味をもった環境問題対策の取組に参加してみよう。 ・アクションプランを作成し、発信しよう。 ・参加した感想についてまとめ、発表する。 	

1 「地球的規模の環境問題とわたしたちの生活との関連を考えよう」

1 単元の目標

- (1) 地球的規模の環境問題について調べる活動を通して、環境問題を身近なものとして捉えることができるようにする。
- (2) 自らの生活の中から地球環境に大きな影響を与えている問題を見付け出し、共生や思いやりの視点から問題解決に向けての具体的手だてをまとめ、自らの暮らし方を改善していく実践行動につなげることができるようにする。

2 評価の観点

評価の観点		内 容
環境についての感受性 共生や思いやりの心		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球的規模の環境問題を自分の生活と関連付けて捉え、「環境にやさしい暮らし方とは何か」という問題を解決するための活動に興味・関心をもって関わることができる。 ・ 人と自然や社会とが深く関わり合っていることに気付き、自然や多様な人々との共生の心をもって、自らの生活行動を見つめ直すことができる。
環境に対する見方・考え方	環境に対する思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境に影響を与えている問題を毎日の生活の中から見付け出し、その解決方法を具体的な行動として考えることができる。 ・ 地球環境と身近な環境との関わりに目を向けて、自分の生活も環境の一つの要素であると考えられることができる。 ・ 地球的規模の環境問題について、インターネットや実験、調査などから自分の考えをまとめ、効果的に発表できる。
	問題解決に必要な技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題についてインターネットや実験、調査などを活用して、自ら情報を収集・検証・選択することができる。
	環境に対する知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境を構成する一員として、自分の暮らし方を見つめ、暮らし方には環境に対する責任のあることが分かる。 ・ 世界の自然・社会環境をめぐる様々な問題について、現状や歴史的・経済的背景を理解できる。
環境に働きかける実践力		<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境にやさしい暮らしとは何かを知り、自らの暮らし方を積極的に改善できる。 ・ 「未来に持続する社会」の視点に立って家庭や学校におけるアクションプランを考え、環境を守り育てる活動を実践できる。

3 指導計画【全10時間程度】

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L ① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ○ エコスタイルチェックで自分の生活を見つめ直そう。 ○ 地球に今何が起きているの？ 環境問題について知っていることを話し合い、現実を見つめよう。 ・ 地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊、海洋汚染、森林減少、砂漠化等について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 他者との競争でなく、自らの生活を素直に見つめさせる。 ◇ 6つの地球規模の環境問題について、概要資料を提示する。 ◇ 視聴覚資料を活用し、環境問題を実感的に捉えられるようにする。 <p>◆【環境についての感受性】自分の生活が環境に影響を与えていることについて率直に受け止めることができる。</p> <p>◆【共生や思いやりの心】環境問題に直面している人々の思いを共有できる。</p>

	時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
T H I N K	④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味をもった環境問題について深く調べてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べてみたいことと自分の生活との関連を考える。 ・ インターネットを活用して情報を集める。 ・ 環境問題の歴史的、経済的背景を調べる。 ・ 周りの人へのインタビュー、調査、実験などの結果をまとめに取り入れる。 ・ 自分ができる具体的な生活改善プランを考える。 ・ 調べたことをレポートや新聞、プレゼンテーションソフトなどを使って効果的に発表する。 ○ 調べた環境問題が未来の地球に与える影響を予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 課題を選択した理由について明確にさせる。 ◇ 自分なりの思いや願いを明らかにして問題解決活動が進められるようにする。 ◇ 情報収集の方法について例示する。 ◇ 環境問題と自らの生活との関連性について明らかにさせる。 <p>◆【環境に対する見方・考え方】</p> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの生活の中から地球的規模の環境問題の課題を見付け出すことができる。 ・ 自らの生活と環境との関連について考えることができる。 ・ 得られた情報を効果的に加工し、自らの考えを発表できる。 <p>〈技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な情報ソースから課題解決に必要な情報を得ることができる。 <p>〈知識・理解〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分にも環境に対する責任があることを知る。 ・ 環境問題を多面的に理解する。
	⑨ ⑩	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちの発表内容について自らの考えをもとう。 ○ 学習を通して分かったことをこれからの生活に生かそう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地球的規模の環境問題を解決するために自分で取り組めることを考え、行動として表す。【改善行動】 ・ 未来に向けてよりよい環境を築き、育てていくために自分で地域社会において取り組めることを考え、行動として表す。【発展行動】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自分が調べた内容を踏まえて意見が述べられるようにする。 ◇ 環境の改善と発展の 2 つの側面から、行動目標を考えさせる。 ◇ 行動目標は実行可能な内容になるようにする。 ◇ ①時に実施したエコスタイルチェックを振り返らせる。 <p>◆【環境に働きかける実践力】自分の生活を環境の改善と環境の発展からの側面から見つめ直し、具体的な行動として提言できる。</p>

4 単元の評価規準

- (1) 自分の生活が環境に影響を与えていることについて率直に受け止めるとともに、環境問題に直面している人々の思いを共有している。(エコスタイルチェック記入内容、話し合い活動における発言分析)
- (2) 地球的規模の環境問題について、自ら課題を設定し、見通しある学習計画を立てて、よりよく問題を解決している。(課題設定とその根拠の分析、情報収集方法の多様性、環境問題に対する自分なりの思いや願いをもとにした理解)
- (3) 自分の生活の改善について、具体的な行動として提言している。(提言内容の分析)

2 「環境問題対策を私たちから発信しよう」

1 単元の目標

- (1) 世界各国や各自治体、企業等における環境問題対策の取組について調べる活動を通して、環境問題対策を身近なものとして捉えることができるようにする。
- (2) 自らの思いや願いをもって、持続可能な社会の構築の視点から実践可能な環境問題対策について、家庭や学校、地域に対して提言することができるようにする。

2 評価の観点

評価の観点		内 容
環境についての感受性 共生や思いやりの心		<ul style="list-style-type: none"> 様々な環境問題対策を自分の思いや願いをもって受け止め、「自分にできることは何か」という問題を解決するための活動に興味・関心をもって関わることができる。 環境問題対策にかかわる人々の考え方に共感し、自然や多様な人々との共生の心をもって、自らの生活行動を見つめ直すことができる。
環境に対する 見方・ 考え方	環境に対する 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題対策を毎日の生活と関連付ける中から問題を見付け出し、その解決方法を具体的な行動として考えることができる。 自分の生活から環境を改善できると考えることができる。 様々な環境対策について、インターネットや実験、調査などから自分の考えをまとめ、効果的に発表できる。
	問題解決に必要な 技能	<ul style="list-style-type: none"> 様々な環境問題対策についてインターネットや実験、調査などを活用して、自ら情報を収集・検証・選択することができる。
	環境に対する 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 「持続可能な社会の構築」に向けて、世界各地の人々の工夫や努力を理解できる。 様々な環境問題対策について、現状や歴史的・経済的背景を理解できる。
環境に働きかける実践力		<ul style="list-style-type: none"> 各自治体や団体の環境問題対策の活動に共感し、積極的に参加することができる。 「未来に持続する社会」の視点に立って家庭や学校、地域におけるアクションプランを考え、環境を守り育てる活動を実践できる。

3 指導計画【全10時間程度】

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L	<p>○ エコスタイルチェックで自分の生活を見つめ直そう。</p> <p>○ オーストラリアの子どもたちの環境への取組について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> オーストラリアが直面する環境問題。 同年代の子どもたちの主体的な活動の様子。 <p>○ 様々な環境問題対策について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に関わる国際条約(京都議定書、ラムサール条約等)の内容。 企業や自治体の省エネルギー活動 NPO団体の活動 	<p>◇ 他者との競争でなく、自らの生活を素直に見つめさせる。</p> <p>◇ 視聴覚資料を活用し、オーストラリアの子どもたちの取組を実感的に捉えられるようにする。</p> <p>◇ 条約や条例には具体的な行動目標が示されていることに気付かせる。</p> <p>◇ 環境問題対策に取り組む人々の思いや願い、その成果について触れる。</p> <p>◆【環境についての感受性】様々な環境問題対策の取組を共感的に受け止めることができる。</p> <p>◆【共生や思いやりの心】環境問題対策に取り組む人々の思いや願いを共有することができる。</p>

	時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
T H I N K		<ul style="list-style-type: none"> ○ 板橋区や各自治体、企業、世界各国の環境問題対策の取組について調べよう。 ・ 板橋エコポリスセンターや環境省のHPから自治体の取組について情報を得る。 ・ オーストラリアの学校との交流(オーストラリア大使館を通じて) ・ インターネットを活用して世界各国や企業の取組について情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 情報収集の方法について例示する。 ◇ 自分なりの思いや願いを明らかにして問題解決活動が進められるようにする。 ◇ 環境問題対策の取組の中に、自分たちの参加の視点を位置付けさせる。 ◇ 企業等の訪問について調整する。
	④ ⑤ ⑥ ⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活とのつながりについて考え、まとめに生かす。 ・ 調べたことをレポートや新聞、プレゼンテーションソフトなどを使って効果的に発表する。 	<p>◆【環境に対する見方・考え方】</p> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの生活との関連性を明らかにして、課題を見付け出すことができる。 ・ 得られた情報を効果的に加工し、自らの考えを発表できる。 <p>〈技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な情報ソースから課題解決に必要な情報を得ることができる。 <p>〈知識・理解〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題対策に取り組む人々の思いや願いについて理解する。 ・ 環境問題対策を多面的に理解する。
A C T I O N		<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちの発表内容について自らの考えをもとめよう。 ○ 興味をもった環境問題対策の取組に参加してみよう。 ・ 3Rの学校や家庭、地域における実践。 ・ リサイクル活動の実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自分が調べた内容を踏まえて意見が述べられるようにする。 ◇ 自分の興味・関心に沿って、参加する環境問題対策の取組を選択できるようにする。 ◇ 環境問題対策への子どもたちの参加が「未来に持続する社会」の構築につながるという、自信と誇りをもたせるよう賞賛する。 ◇ ①時に実施したエコスタイルチェックを振り返らせる。
	⑧ ⑨ ⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境教育に関する各コンクールへの参加。 ○ 参加した感想についてまとめ、発表する。 ○ 家庭や学校、地域におけるアクションプランを作成し発表する。 	<p>◆【環境に働きかける実践力】現状を「未来に持続する社会」の視点から捉え、環境改善に向けて、具体的に行動できる。</p>

4 単元の評価

- (1) 環境問題対策の取組の様子や、それに関わる人々の思いや願いを共感的に受け止めている。(エコスタイルチェックやワークシート記入内容、話し合い活動における発言分析)
- (2) 様々な環境問題対策を調べる活動について、自ら課題を設定し、見通しある学習計画を立てて、よりよく問題を解決している。(課題設定とその根拠の分析、情報収集方法の多様性、自分なりの思いや願いをもとにした理解)
- (3) 環境問題対策の取組に積極的に参加している。(活動状況、感想における発言内容の分析)